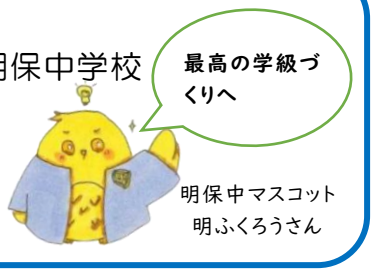
明保通信　令和８年度　１１月号　西東京市立明保中学校

校　訓　考える学校

教育目標　すすんで学び　心身ともに健康で　思いやりのある人になる



明保中マスコット
明ふくろうさん

「合唱づくり」から「最高の学級づくり」へ

西東京市立明保中学校
校　長　　村松　健

朝晩の寒さが一段と増し、校庭の木々も鮮やかに赤や黄に色づく季節となりました。秋の深まりを感じるとともに、今年度も後半戦へと折り返したことを実感いたします。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、先月開催いたしました合唱コンクールでは、多くの保護者の皆様にご来場いただき、温かい拍手を送っていただきましたことに深く御礼申し上げます。当日は、各クラスが今年のスローガン「百歌繚乱～咲かせろ声の花～」の言葉通り、一人一人の思いがこもった素晴らしい歌声の花をステージ上に咲かせ、会場全体が息をのむような深い感動に包まれました。私自身、以前勤務していたこの明保中学校ですが、ステージ上で響き渡る生徒たちの力強く美しい歌声を聴き、本校に受け継がれてきた「合唱のすばらしさ」という輝かしい伝統を改めて確信し、胸が熱くなる思いでした。そうした素晴らしい合唱を聴きながら、私が改めて心に強く感じたのは、「合唱づくりは学級づくりそのものである」ということです。



合唱というものは、ただ声を大きく出せばよいわけではありません。また、特定の誰か一人が飛び抜けて上手く歌えても決して成り立ちません。自分のパートの役割を果たしながらも、となりにいる仲間の声にそっと耳を傾け、指揮者に合わせて息を整え、お互いに歩み寄ることではじめて、美しいハーモニーが生み出されます。本番に至る練習の過程を振り返ると、決して順風満帆な道のりばかりではなかったはずです。なかなか声が揃わないもどかしさや、パート間での意見の行き違い、時には練習に対する意識の違いから衝突した日もあったでしょう。しかし、生徒たちはそうした壁から逃げることなく、正面から向き合い、互いの思いを伝え合って乗り越えてきました。ステージの上で見せてくれたあの凛とした表情と一体感は、一朝一夕でできたものではなく、愚直に積み重ねてきた「学級づくり」の結晶そのものです。明保中の輝かしい伝統を支えているのも、まさにこの泥臭い取り組みの中にあります。

学校行事は、当日の成功や感動だけで完結するものではありません。真の教育的価値は、「行事という大きな体験を通して得た成果と絆を、これからの日常の学校生活にどう活かしていくか」にあります。合唱コンクールで培った「仲間の声に耳を傾け、互いの存在を認め合い、同じゴールを目指して高め合う姿」を、今度は毎日の授業での学び合いや、係・委員会活動、部活動、そして日々の学級生活へと還元していってほしいと切に願っております。特に、これから本格的な受験期を迎え、自分の進路開拓という大きな目標に向かって進む３年生にとっては、ここからの時間が自分自身との戦いとなります。しかし、みなさんには合唱を通して支え合い、伝統を繋いできた強い絆があります。互いを尊重し、挫けそうな時に「大丈夫だ」と声を掛け合えるクラスの温かい空気感は、受験という個人戦を乗り越えるための「学級というチームの大きな力（団体戦）」になるはずです。そして１・２年生も、先輩方の堂々とした姿と伝統をしっかりと受け継ぎ、次代の明保中を担う頼もしい学年へと一歩ずつ成長してくれることを期待しています。

○合唱コンクール保護者アンケート結果のご報告

先日の合唱コンクールには、ご多忙の折、多くの保護者の皆様にご来場いただき、また温かいご声援を賜り誠にありがとうございました。皆様から寄せられた貴重なご意見・ご感想（抜粋）を、学校運営への感謝と今後の改善に向けた課題としてご報告いたします。

（1）スローガン「百歌繚乱~咲かせろ 声の花~」に合わせた学級ごとの色について

・とても楽しめた 68.8%　・楽しめた 30.7%　・あまり楽しめなかった 0.5%　・楽しめなかった 0%

（2）生徒たちの団結する姿について

・とても感じられた 75.7%・感じられた 23.8%・あまり感じられなかった 0.5%・感じられなかった 0%

（3）生徒の主体的な進行・参加について

・とてもそう思う 72.0%　・そう思う 28.0%　・あまりそう思わない 0%　・そう思わない 0%

（4）本日の会場（タクトホームこもれび GRAFARE ホール）について

・とても満足した 58.2%　・満足した 36.0%　・あまり満足しない 4.2%　・満足しない 1.6%

（5）合唱コンクールの日付（開催時期・曜日）について

・よかった 90.5%　・改善を希望する 9.5%

（6）ご意見・ご感想（アンケートで寄せられたご意見・ご感想を要約して掲載します。）

成果：生徒たちの直向きな歌声と感動的な成長

・**直向きな姿勢と一体感への感動**　：どの学級もスローガンの通り個性溢れる美しいハーモニーをホール全体に響かせ、真剣に歌う姿に「胸が熱くなった」「涙が溢れた」との感動の声が多数寄せられました。初めてのホール開催に挑んだ 1 年生のフレッシュな歌声、昨年の経験を糧にした 2 年生の確かな成長、そして最高学年である 3 年生の圧巻のハーモニーと表現力は大きな感銘を与えました。互いの演奏を尊重し拍手を送る姿や、音楽部の発表に対する温かい声援など、校風の素晴らしさと日頃の教育成果が存分に感じられる行事となりました。

・**スムーズな運営と近隣会場ならではの利便性**　：実行委員や進行担当生徒によるテキパキとした主体的な運営、スムーズな客席入れ替えや事前チケット制の導入により、受付混雑もなく円滑に行事が進行しました。また、学校や自宅から近い「タクトホームこもれび GRAFARE ホール」での開催は、移動の負担が少なく近隣の保護者や普段来られないご家族も参観しやすかったと大変好評でした。

今後の改善への課題：より安全で円滑な行事運営に向けて

・**ホール鑑賞マナーの周知と撮影時の配慮：** 保護者完全入替制や人数制限へのご理解・ご協力に深く感謝申し上げます。当日の鑑賞において、動画・写真撮影の際に「前かがみ姿勢」になることで後方席の視界が遮られる事例や、頭上にカメラを構えるケースが指摘されました。「背もたれに背をつけて鑑賞する」というホールの鑑賞マナーについて、事前の案内アナウンスや場内周知をさらに徹底してまいります。

・**日程および行事スケジュールの最適化：** 特に 3 年生において、修学旅行や定期テスト、進路面談等と時期が近接しタイトなスケジュールとなった点や、平日開催で仕事を休む調整に関するご意見をいただきました。生徒が十分な練習時間を確保し、健康管理（感染症対策等）と学業の両立を図れるよう、年間行事計画の配置や開催曜日の設定について慎重に検討を重ねてまいります。

○明保中生の活躍！部活動・文化活動の表彰
　◇中学生の「税についての作文」
　　東京都立川都税事務所長賞　３年△組　○○　○○

○今後の予定（11 月・12 月）
１１月　９日（月）全校朝礼　安全指導
　　１０日（火）期末考査（英・社・保体）給食あり
　　１１日（水）期末考査（理・技家・美）給食あり
　　１２日（木）期末考査（国・数・音）給食あり
　　１３日（金）①～⑤領域診断テスト（３）　⑥受験用写真撮影（３）
　　１６日（月）生徒会朝礼　一斉委員会
　　１９日（木）避難訓練
　　２５日（水）３年進路会議⑤カット（３）
　　２７日（金）⑥がん教育講演会（２）
　　３０日（月）三者面談始　教科作品展始
１２月　２日（水）脊柱側弯検診（１）
　　４日（金）三者面談終　教科作品展終
　　７日（月）全校朝礼　⑥教科作品展片付け
　　９日（水）避難訓練
　　１１日（金）３年入試相談準備⑤⑥カット（３）

